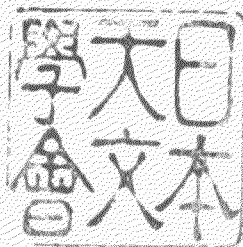


昭和24年5月18日第三種郵便物認可
天文月報第49卷第12號附錄
昭和31年11月20日發行

THE ASTRONOMICAL HERALD

天文月報

第 49 卷



1956

(昭和 31 年)

日 本 天 文 學 會

14
150

総目次

	号	頁
電磁波天文学と微粒子天文学	畑中武夫	(I) 3
水沢の写真天頂筒	服部忠彦	(I) 6
S・C・チャンドラーについて	関口直甫	(I) 9, (II) 24
世界時の新しい内容	宮地政司	(II) 19
宇宙線望遠鏡	関戸弥太郎	(III) 35
あちらの天文台あちらこちら	大沢清輝	(IV) 51
メー・ナッド・サハ教授を悼む	萩原雄祐	(IV) 60
北極位置の測定装置	関口直甫	(V) 67
子午儀の光電観測装置について	坪川家恒, 檀原毅	(V) 71
火星の物理学—今までにどれだけのことが判っているか	田鍋浩義	(VI) 83, (VII) 99
1955年の彗星	広瀬秀雄	(VI) 88
国産 36 吋光電測光用反射赤道儀の製作		(VII) 103
74 吋望遠鏡建設への道	藤田良雄	(VIII) 119
濠洲に 74 吋鏡完成		(VIII) 122
74 吋試験観測昼話	北郷俊郎, 小林宏志, 清水実	(VIII) 124
国際地球観測年をめざして		
一般的事項及び経度と緯度	宮地政司	(IX) 135
太陽活動	畑中武夫	(IX) 137
夜光及び極光の観測	古畑正秋	(IX) 139
74 吋に期待すること	一柳寿一, 宮本正太郎	(IX) 142
連星をめぐる最近の問題		
近接連星の分類と進化の傾向	北村正利	(X) 155
実視連星の統計	石田五郎	(X) 158
銀河電波の最近の研究	土屋淳	(XI) 171
人工衛星	宮地政司	(XI) 174
二つの国際会議をめぐる	藤田良雄	(XI) 177
月食の半影の識別限界に関する天然色写真観測	藤波重次, 磯田良一, 山崎恭弘	(XII) 198

〔窓〕

	号	頁
ロケット分光学	齋藤国治	(I) 4
太陽黒点に関する討論会より	海野和三郎	(II) 22
光電子午儀	虎尾正久	(III) 40
変光小惑星	竹内端夫	(IV) 54
高温星組合と星間雲	高窪啓弥	(V) 74
マイクロ波帯における日食観測	赤羽賢司	(VI) 86
準矮星	大沢清輝	(VIII) 126
アンドロメダ星雲の距離	高瀬文志郎	(IX) 144
かに星雲の偏光	高倉達雄	(X) 160
新しい高分解能分光学	末元善三郎	(XII) 196

〔名著通歴〕

	号	頁
アルマゲスト	藪内清	(I) 11
球面天文学教科書いろいろ	中野三郎	(II) 26
エディントン著「星の内部構造」		
一柳寿一	(III) 42	
寛政曆書及び寛政曆書統録	前山仁郎	(IV) 56
カイパー編「太陽系」	長沢進午	(V) 76
基礎星表	虎尾正久	(VI) 90
アンリ・ポアンカレー著「天体力学の新しい方法」	浦太郎	(IX) 146
統計天文学の教科書	清水壘	(X) 162

〔年 会 記 事〕

	号	頁
春季年会研究発表の要旨	(VII)	104
本田実氏に天体発見賞贈呈	(VII)	112
昭和 30 年度会務及び会計報告	(VII)	113
春季年会シンポジウム記事		
歳差常数について	(VIII)	128
ある種の星の核反応と構造	(VIII)	128
秋季年会研究発表の要旨	(XII)	187
秋季年会シンポジウム要旨		
内惑星の黄緯の周期摂動の決定		
……佐藤 友三	(XII)	195

〔雑 報〕

1955 年 12 月 14 日の日食	(II)	30
パロマーの写真真星図	(II)	30
パーライン・ムルコス彗星	(II)	30
改訂 太 陰 暦	(II)	30
宇宙線メキシコ会議	(III)	39
かに星雲の掩蔽について	(III)	39
オルバース彗星 (1956 a) の発見	(III)	39
天体物理学シンポジウム	(IV)	60
星の誕生か?	(IV)	61
最近の活潑な太陽活動	(IV)	61
ムルコス新彗星の発見	(IV)	61
星雲の後退速度の観測的実証	(V)	78
太陽面上の大黒点群	(V)	78
ブータネン彗星の発見	(V)	78
チェレパンチュク新彗星	(V)	78
超高温シンポジウム	(VI)	93
琴座 RR 星の磁場	(VI)	93
天体の電磁氣的現象に関するシンポジウム	(VI)	94
楯門星雲の組成	(VIII)	129
髪座星雲団に 21 cm 輝線を観測	(VIII)	129
東大にできたアンモニヤ分子発振型原子時計	(IX)	140
星雲の核部分の色	(IX)	141
電波源 Cyg A の 21 cm 吸収線の赤方偏移	(IX)	141
M 87 星 雲	(IX)	141
波長 21 cm における太陽面の輝度分布	(X)	166
国立科学博物館に電波望遠鏡を新設	(X)	166
金星および火星からの電波	(XI)	180
金星の自転周期	(XI)	180
重い星の進化	(XI)	180
質量の小さい星	(XI)	180
ニューケベック孔	(XI)	180

	号	頁
天文学用語の制定はじまる	(XII)	195
クロムメリン周期彗星の再現	(XII)	195

〔書評・新刊紹介〕

萩原雄祐著 天 文 学	……畑中 武夫	(III)	46
荒木俊馬著 現代天文学事典	……鍋木 政岐	(VII)	130
藤波重次編 宇宙の開拓	……広瀬 秀雄	(VII)	130
畑中武夫著 宇宙と星	……福島 久雄	(IX)	149

〔会 員 観 測 報 告〕

掩蔽観測報告 (1955 年)	(IX)	150
太陽黒点観測報告 (1955 年)	(XI)	182

〔びんとぐらす〕

金沢における木村博士胸像除幕式、月の売出し、東京天文台の見学会 (I—10); 野尻さんをかこむ会、プラネタリウム設置計画進む、草地重次氏の計、デルポール博士逝く (II—25); 福見先生を囲む会、小惑星 1616 番 Hirose と命名、乗鞍ヘテスト飛行 (IV—62); 上田穰博士ブルーへ招かる、アメリカに大天文台の計画、中国の天文台のぞき見 (V—70); 天体物理学の振興に関する学術会議の決議、桃源郷オッカ行 (VI—94); 天体発見賞の舞台裏から、天文界東人西人、74 吋鏡建設地きまる (VII—112); 東大五月祭の展示より、ウンゼルト教授にブルースメダル、海野氏プリンストン大学へ、ウィッターカー、ペーカー両教授の逝去 (IX—150); ベルーへのコロナグラフ試験観測、ストゥルーヴェ氏の奇禍 (XI—181); 東京天文台中村純二氏南極観測隊に参加、東京天文台見学会と天体写真エハガキ (XII—195)

〔天 象 欄〕

1 月	オリオン座大星雲付近の星野
2 月	天王星とヴェスタの運行図
3 月	海王星とオルバース彗星の運行図
4 月	プレセペ星団
5 月	5 月 24 日の部分月食における月の運行図
6 月	火星面案内図
7 月	土星の衛星
8 月	銀河の中心付近
9 月	小惑星第 1 番ケレス、閃光星鯨座 UV
10 月	プレヤデス星団中心部
11 月	11 月 18 日の皆既月食
12 月	ヒヤデス星団

(本年度天象欄の筆者は富田弘一郎、原寿男両氏)

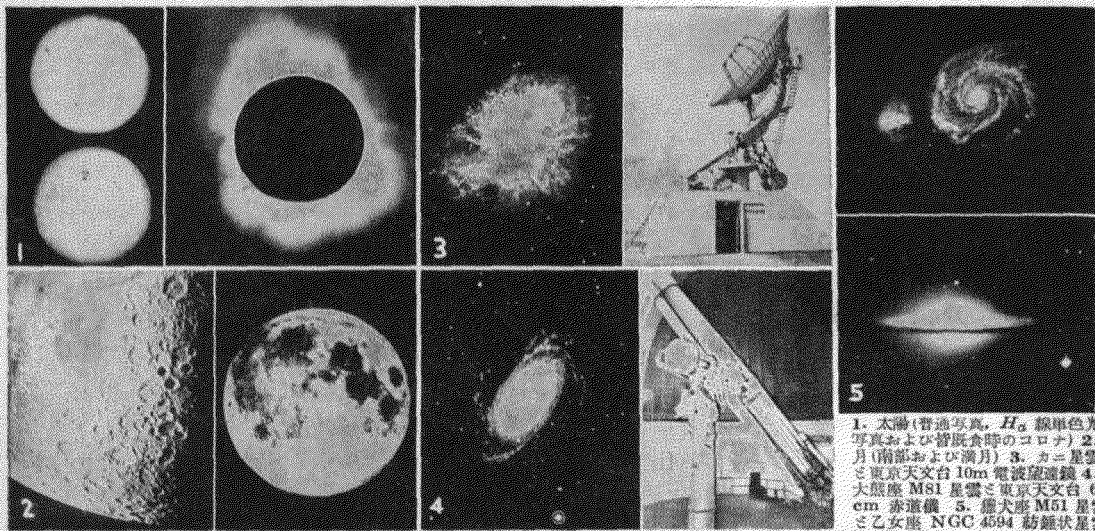
〔表紙写真〕

〔月報アルバム〕

- 第1号 水沢緯度観測所に新設された写真天頂筒
- 第2号 パロマー写真星図
- 第3号 関戸教授による宇宙線望遠鏡第2号
- 第4号 マクドナルド天文台構内風景
- 第5号 2月19日東京天文台で撮影した太陽面写真
- 第6号 ムルコス彗星(1965e)
- 第7号 1941年10月の大接近時における火星写真
- 第8号 74吋望遠鏡試験観測の乾板からの一標本
- 第9号 放射状光を伴った弧状オーロラ
- 第10号 赤フィルターをかけてうつしたかに星雲
- 第11号 オランダのDwingelooに建設中の大電波望遠鏡
- 第12号 太陽スペクトルの吸収線のジグザグ模様

金沢市に建設された木村博士の胸像、東京天文台見学会スナップ集(I-15); 野尻抱影氏をかこむ会、ありし日の草地重次氏、昨年12月14日の日食、学園天文台二つ(II-31); 台湾で見られた金環食、水沢緯度観測所を訪ねて(III-47); 福見尚文氏を囲んで、最近の太陽面の爆発、雪の乗鞍を空中訪問(IV-62); 地理調査所野外天測班(V-79); 掩蔽を追うて(VI-95); 春の学会から(VII-114); 74吋建設地きまる(VIII-131); 乗鞍だより(IX-151); 国立科学博物館から(X-167); 藤田さんの渡欧アルバム抄(XI-183); 水沢での年会風景あれこれ(XII-202)

天体写真エハガキ(本会発行)



1. 太陽(普通写真、 H_{α} 線単色光写真および皆既食時のコロナ) 2. 月(南部および満月) 3. カニ星雲と東京天文台10m電波望遠鏡 4. 大熊座 M81 星雲と東京天文台 65 cm 赤道儀 5. 獵犬座 M51 星雲と乙女座 NGC 4594 紡錘状星雲